理解度テスト1解説付き解答

平成 年 月 日

選択肢の中から正解の番号を１つだけ選択してください。

(1)　 要求定義と運用テストの対応をとった開発プロセスのモデルを、何モデルと言いますか

　①U　②V　③X　④Y

【解答】②

【解説】Vモデルと言われます。要求定義と運用テスト、システム仕様とシステムテスト、ソフトウェア仕様とソフトウェアテストのように対応しています。

(2)　 システムの要求には大きく分類すると、機能要求と何がありますか

①性能要求　②信頼性要求　③非機能要求　④技術要求

【解答】③

【解説】システムの要求を大きく分類すると機能要求と非機能要求からなります。

(3)　 非機能要求グレードに**記述されていない**コンセプトはどれですか

　①体系的・網羅的に非機能要求項目を整理　②グレードによるレベルの絶対値を設定

　③段階的な要求項目の詳細化　④典型的なモデルシステムを設定

【解答】②

【解説】グレードによるレベルは絶対値ではなくベース値を設定しています。

(4)　 非機能要求グレードの小項目を定量的に表現している指標のことを何といいますか

①マトリックス　②メトリクス　③レベル　④レイヤ

【解答】②

【解説】要求の程度を定量的に表現するための指標をメトリクスと呼んでいます。

(5)　 グレード表に記述されているモデルシステムはどれですか

　①社会的影響の大きさで3モデルを定義　②社会的影響の大きさで5モデルを定義

　③処理性能の高さで3モデルを定義　④処理性能の高さで5モデルを定義

【解答】①

【解説】モデルシステムは、社会的影響が殆ど無いシステム、社会的影響が限定されるシステム、社会的影響が極めて大きいシステム、の3モデルを定義しています。

(6)　 非機能要求項目のレベル決定で非機能要求グレードに記述されているのはどれですか

　①必ずモデルシステムを決定しなければならない　②項目一覧からいきなり決定しても良い

　③重要項目の全てについてレベルを決める必要がある

④重要項目以外の全てについてもレベルを決める必要がある

【解答】②

【解説】非機能要求の決定手順は、モデルシステムを決定して3段階で実施する方法と、項目一覧からいきなり決定していく2つの方法があります。また、重要項目やそれ以外の項目についても必要な項目を取捨選択しレベルを決定することができます。

(7)　 非機能要求項目のレベル決定後で、非機能要求グレードの考え方に**なっていない**のはどれですか

　①非機能要求項目間で全く矛盾はない　②非機能要求項目間で矛盾が生じることがある

　③システム開発費の見積りがしやすくなる　④処理性能が明確になる

【解答】①

【解説】非機能要求項目間で矛盾があることがありますので項目間の調整が必要になります。

(8)　 要求の内容に関与する利害関係者のことを何といいますか

　①アクタ　②アナリスト　③ステークホルダ　④ユーザ

【解答】③

【解説】ステークホルダは情報システムの導入で恩恵を受ける人、影響を受ける人、など様々です。

(9)　 機能要求と非機能要求の検討について関連を示しているのはどれですか

①機能要求と非機能要求は別物なので一緒に検討できない

②機能要求の検討では非機能要求グレードを全く参考にできない

③機能要求によっては非機能要求の検討は可能である

④必ず非機能要求を検討してから機能要求を検討する

【解答】③

【解説】機能要求を頭に入れて、非機能要求グレードの項目一覧を俯瞰し、関連する非機能要求項目を洗い出します。その後、非機能要求の詳細な検討を行います。

(10)　クラウドサービスの検討時に非機能要求グレードを活用できますか

①SaaSの業務アプリケーション領域では活用可能　②IaaSでは活用不可

③全てのクラウドサービスで活用不可　④場合によっては活用可能

【解答】④

【解説】SaaS、IaaSでも活用は可能ですが、SaaSの上位レイヤの業務アプリケーション領域は非機能要求グレードの対象外となっています。